

生活習慣について

長い夏休みが終わり、3 学年別の2学期の始業式で、これから始まる毎日の登園に向けて、生活リズムを取り戻してほしいと願い、それぞれの式で絵本『おはよう』を読みました。その後、毎朝の身支度や幼稚園で使うものを自分でリュックサックに用意して、そしてリュックサックは自分で持って登園でできればいいなという話やコロナ感染症対策の話もしました。

絵本 『おはよう』

なかがわりえこ さく やまわきゆりこ え

『おひさまが朝、雲の布団から目覚めます。そして、歯磨きをし、顔を洗い、髪をとかして、服を着替えます。その後、おひさまは野原にでかけ、空から動物たちと出会います。』

ある日、5歳児のお家の人から、次のような話を聞きました。

「2学期の始業式で園長先生にお話を聞いたと言って、朝、自分から歯を磨いたり、顔を洗ったりするようになりました。今までは、こちらから言わないとしなかったのですが、…。本当は、もっと早くからちゃんとできてたらいいいんですが、園長先生の話をちゃんと聞けるようになり、自分でするようになったんだと嬉しく思いました。」

生活習慣の自立というのは、言われて何となくそうするものだと言ったと習慣化していくこともあるでしょう。しかし、話で聞いたことを自分の中に落とし込み、そうだ！やらなきゃと意識をするということがとても大事だと思います。もちろん、話をきちんと受け止め、実行に移してくれたことは大変うれしいことでした。本園の教育目標の中の「自分で考え」という姿が見られたひとこまでした。



さらに、2学期の幼稚園での生活について、コロナの感染を防ぐための話をしました。コロナのばい菌が口や鼻から入らないようにマスクをしっかりと着用したり、ばい菌がつかないように手を洗ったり、消毒したりすること、そして友達と少し間を空けることなどでコロナの病気が広がらないのだと。そして、しっかりと守っていくと毎日、幼稚園に来ることができることやいろいろな行事ができることなどについても話しました。

4歳児の子どもたちが絵本室や自分の保育室など行ったり、来たりしながらあそんでいました。その時にマスクを外していた○ちゃんや◎ちゃん。私が「マスクはどうしたの？」と尋ねると「あ、そうだった！」とマスクをすぐに着けました。

コロナウイルス感染症が拡大し、新しい生活様式を進めることが生活習慣の一つになりました。幼児にとっては、3密を避けることやマスク着用、手洗い消毒、ソーシャルディスタンスなどとても難しいことです。しかし、実行していかなければなりません。子どもたちにわかるように、具体的に丁寧に話しました。子どもたちにとって何より、幼稚園がお休みにならないこと、運動会ができることや園外保育に出かけることに期待も大きかったようです。その後の○ちゃんの様子から、「あ、そうだった！」とマスクをしておかなければ楽しいことができない！とマスクの重要性を感じることにつながりました。

生活習慣は生活の中で、健康や安全を守るために必要なことです。子どもたちが意味がわかり、必要だと分かってやっていこうとすることが習慣につながっていきます。朝の身支度や自分の持ち物の用意、自分の持ち物は自分で持つなど、幼稚園でもご家庭でも子ども達にわかるように伝え、自立に向けて関わっていければと思います。